

# 災害時におけるインバウンドへの情報提供

## — 非常通信セミナー2019 —

台風19号の豪雨にみまわれた東北。釜石で開催が予定されていたラグビーワールドカップの観戦に訪れた外国人をはじめ、東北に滞在中の観光客に必要な情報を提供できたでしょうか。

2018年度の外国人観光客数は3000万人を超え、外国人労働者も増加しています。東日本大震災の被災地である東北では、台風19号からの観光復興をはじめ、地域経済に重要なインバウンド(訪日外国人旅行者)の増加を図る「攻め」の取組とともに、災害時に情報が伝わりにくい外国人を守る「守り」のインバウンド向けの取組の両面が重要となっています。

東北総合通信局では、関係機関と連携し、インバウンドをはじめとする外国人への災害時における対応について紹介する非常通信セミナーを開催します。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、より多くの外国人に安心して訪問して頂き、また東北に来たいと思ってもらえるよう、東北の防災、観光・ホテル、ライフライン関係者が協力して、外国人観光客と地域経済を災害から守るための観光危機管理に取り組みませんか。

**日時** 令和元年**11月11日(月)** 14時から16時まで (開場13:30)

**場所** **東北大学百周年記念会館 川内萩ホール 2F 会議室**  
(宮城県仙台市青葉区川内40)

当日は、隣接する仙台国際センターにおいて、以下の行事が開催されています。

- ・世界防災フォーラム／防災ダボス会議@仙台2019
- ・第10回「震災対策技術展」東北

**対象** **防災、観光・ホテル、放送・通信・ライフライン関係等の方**

### プログラム

#### ◆ 基調講演

災害時の外国人観光客支援～台風19号からの観光復興に向けて～(仮)

講師： (株) JTB総合研究所

上席研究理事 観光危機管理研究室長 高松 正人 氏



#### 【講師略歴】

観光危機管理の日本における草分け、第一人者として、国内外の観光危機管理や観光復興関係の業務に数多く関わる。株式会社日本交通公社(現JTB)入社。2012年よりJTB総合研究所常務取締役。2018年より同社上席研究理事。著書に「観光危機管理ハンドブック」

#### ◆ 外国人への情報提供に向けた取組について

- ・自動音声認識による字幕実験について(仮)  
講師： (一財) NHKエンジニアリングサービス
- ・防災訓練における外国人誘導のための翻訳機使用について(仮)  
報告者： 東北総合通信局 総括調整官 山田 誠哉
- ・TV字幕翻訳・BIZmodeについて(仮)  
講師： (株) ピクセラ 取締役 栗原 良和 氏

**定員** 100名 (参加無料)

**申込** セミナーへのご参加は事前の申込みが必要です。詳しくは、本チラシ裏面をご覧ください。

**主催** 東北総合通信局、東北地方非常通信協議会、東北情報通信懇談会、東北電気通信協力会

**後援** 東北運輸局(予定)

# 【仙台駅から会場までのご案内】

- 地下鉄東西線  
八木山動物公園方面行乗車  
**国際センター駅下車**  
「西1」出口から徒歩5分  
(80段の階段あり)  
または 川内駅下車 徒歩7分
- タクシー  
仙台駅西口タクシー乗り場から  
約15分

※会場には駐車場の用意はございません。  
お車の場合は有料駐車場をご利用下さい。



西側のホール入口ではなく、  
東側の事務室入口が入口です。



以下の行事が開催中  
・世界防災フォーラム  
・第10回「震災対策技術展」東北

## 【申し込み方法】

下部の参加申込書により、電子メール、FAXまたは電話（受付時間8:30~17:15）にてお申込みください。

電子メールの場合は、件名「非常通信セミナー申込み」とし、下記参加申込書の各項目を記載の上送信してください。

申込締切：令和元年10月31日（木）

- FAX: 022-221-0607
- E-mail: hijyokyo-toh@ml.soumu.go.jp

※お申込は座席の確保を確約するものではありません。  
参加者多数の場合は、立席とさせていただきます。  
※お申込み頂いた際の個人情報は本説明会参加者の集約以外の目的で使用することはありません。

## 【お問い合わせ】

東北総合通信局無線通信部陸上課（担当：津村、山田） 電話：022-221-2566  
E-mail: hijyokyo-toh@ml.soumu.go.jp

## 参加申込書

団体・法人名等	
参加人数	
氏名 (複数参加の場合は代表者名のみ)	
連絡先電話番号	